

文化庁では、国や地域が有する貴重な文化資源を活かし、官民連携による新たな価値創造と持続可能な活用の推進に取り組んでいます。令和5年3月に閣議決定された「文化芸術推進基本計画(第2期)」では、建築文化(※)の振興が価値創造や社会・経済の活性化を支える重要な施策として新たに位置づけられました。

こうした方針のもと、文化庁では近現代建築に特に着目し、その保存・活用を通じて建築文化を振興するため、制度検討や普及啓発を進めています。近年では、市民に親しまれてきた建造物や景観を現代のニーズに合わせて継承・改修し、文化と経済の好循環を生み出す取り組みが各地で広がっています。

本サミットでは、そうした取り組みの最前線で活躍する実践者を招き、事例紹介、専門的な論点提示、参加者との全体討議を通じて、歴史的価値と現代的価値をいかに結びつけ、次世代へ引き継ぐのかを多角的に議論します。建築文化振興のこれからを展望するとともに、都市・地域づくりの新たな可能性を探ります。

(※ 建築文化とは、建物やまち並みを単なる不動産ではなく「地域の文化資産」として捉え、手を入れつつ使い続けることにより、地域の魅力を高め、経済と暮らしの活力につなげる取組です。)

プログラム／登壇者プロフィール

16:00

開会のあいさつ

16:10

講演テーマ①「まちづくり」

時岡 壮太氏

株式会社デキタ 代表取締役



プレゼンター

2011年に株式会社デキタを設立。築地場外市場や気仙沼市等での施設開発に携わったのち、2019年に福井県若狭町に会社を移転、自身も20年ぶりに若狭にUターン。若狭町にある伝建地区「熊川宿」にて、シェアオフィスや宿泊施設等の古民家活用、食品加工、アウトドア施設運営を進めるとともに、若狭地方の公民連携まちづくりに従事。

豊田 雅子氏

NPO法人尾道空き家再生プロジェクト 代表理事



コメンテーター

大学卒業後、大阪の旅行代理店で海外旅行の添乗員として勤務。2002年に尾道にUターンし、2007年に尾道空き家再生プロジェクトを設立。これまでに約20軒の空き家を再生し、大家と借り手を仲介する「尾道市空き家バンク」事業では約170軒のマッチングを実現。

中嶋 徹氏

株式会社竹中工務店 設計本部 伝統・レガシ建築グループ



コメンテーター

大学卒業後に竹中工務店へ入社。一般建物の新築・改修の施工管理(いわゆる現場監督)を約7年経験後、横浜赤レンガ倉庫、赤坂迎賓館など歴史的建物の保存・活用工事に携わる。2009年より現所属の設計本部にて歴史的建物の保存・活用に関わる提案や計画等のマネジメントを専業としている。

16:55

講演テーマ②「ビジネス」

福田 和則氏

株式会社 エンジョイワークス 代表取締役



プレゼンター

外資系金融機関を経て、2007年にエンジョイワークスを設立。不動産・建築分野を軸に、歴史的建造物や空き家の再生・利活用を実践。地域活性化ファンド「ハロー! RENOVATION」を活用した共感型プロジェクトを展開し、自治体や企業と連携しながら関係人口の創出と、持続可能なまちづくりの仕組みづくりに取り組んでいる。

金野 幸雄氏

一般社団法人創造遺産機構 理事



コメンテーター

兵庫県職員、篠山市副市長などを経て、現在、一般社団法人創造遺産機構理事、一般社団法人ウィルアーツ代表理事などを務める。2005年頃に古民家再生事業を開始。建築基準法、旅行業法の改正に関わり、古民家等を活用した分散型のエリア開発事業を実現した。現在は重要文化財、史跡、世界遺産の活用などの事業構築に取り組んでいる。

水上 幸子氏

株式会社リノベーション 取締役



コメンテーター

設計職にて5年間勤務後、現在は全国でリノベーションまちづくりを企画プロデュースしエリア価値向上に寄与している。2021年には夫婦でkvalito一級建築士事務所を開設。地域の夜と余をあそぶナイトマーケット「ヨアソビ・ヨ市」、地域の人材発掘のための定期イベント「茨生人図鑑」等の企画プロデュースに従事。

17:40

休憩

17:55

講演テーマ③「デザイン」

神本 豊秋氏

株式会社再生建築研究所 代表取締役



プレゼンター

「再生建築を文化に」をミッションに再生建築の研究を行う。2012年創業。同年より東京大学生産技術研究所 特任研究員(川添研究室)として、約100年ぶりの東京大学総合図書館の再生に従事。2015年に株式会社再生建築研究所を設立。同社で企画・再生したミナガワビレッジ(東京都・渋谷区)に入居し、運営も行う。

藤村 龍至氏

東京藝術大学 准教授・RFA主宰



コメンテーター

2005年より建築設計事務所RFAを主宰し、ユーザーを巻き込んだ公共施設や住宅等の建築設計を幅広く手がけ、多くの賞を受賞。近年は行政や民間でベロパー等から委託され、エリアプラットフォーム立ち上げなどを通じて建築と都市を繋げる取り組みが多い。

吉原 勝己氏

株式会社スペースRデザイン 代表取締役



コメンテーター

製薬会社勤務を経て、家業の貸しビル管理会社を引き継ぐも、試行錯誤してリノベーションやDIYの分野を開拓し古いビルの再生を次々に実施。古ビル再生の事例として全国より視察が来る。築100年のビル活用を目指しNPO法人福岡ビルストック研究会を立ち上げ、福岡DIYリノベWEEKなどを企画。

18:40

パネルディスカッション「まちづくり×ビジネス×デザインのシナジー」

加藤 耕一氏

東京大学大学院
工学系研究科建築学専攻 教授



パネリスト

パリ第IV大学客員研究員、近畿大学講師、東京大学准教授を経て、2018年より東京大学教授。主著に『ゴシック様式成立史論』(中央公論美術出版)、『時がつくる建築』(東京大学出版会)、『建築のラグジュアリー』(東京大学出版会)など。受賞にサントリー学芸賞(芸術・文学)、日本建築学会賞(論文)、建築史学会賞など。

後藤 治氏

工学院大学 総合研究所 教授



パネリスト

1988年文化庁文化財保護部建造物課文部技官。95年、同文化財調査官。99年、工学院大学工学部都市デザイン学科助教授。03年、同教授。11年から学部改組により建築学部教授。大学常務理事を経て17年5月から同大理事長に就任。07年、日本建築学会・日本建築防災協会賞を共同受賞。

馬場 正尊氏

株式会社オープン・エー
代表取締役



パネリスト

2003年OpenAを設立。建築設計、都市計画、執筆などを行い、同時期に「東京R不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。2015年より公共空間のマッチング事業「公共R不動産」立ち上げ。2017年より沼津市都市公園内の宿泊施設「INN THE PARK」を運営。

廣安 ゆきみ氏

READYFOR株式会社
文化部門長



パネリスト

出版社で月刊誌の編集を経験後、2016年よりREADYFORへ。「文化にもっとお金がまわる社会を作りたい」という思いから、2020年に文化部門を立ち上げる。キュレーターとして博物館・美術館、舞台芸術、文化財など広く「文化・芸術分野」のファンレイジングを担当し、累計40億円の資金調達をサポート。

19:20

閉会



お申込みは
こちら

お問合せ:
「文化庁 建築文化サミット」事務局
TEL: 03-3553-2222 対応時間: 10時~18時
※土日祝日を除く
メール: summit@bunkazai-katsuyo.jp

MC



クリス 智子氏

上智大学比較文化学部卒業時に、東京のFMラジオ局J-WAVEでナビゲーターデビュー。現在は同局にてレギュラー番組「TALK TO NEIGHBORS」「CREADIO」を担当。ナレーション、トークイベント出演、エッセイ執筆、朗読など、幅広く活躍中。得意とするのは、暮らし、デザイン、アートの分野。日本キャンドル協会理事。アトリエ「Cafune」主宰。